

§39 to不定詞と動名詞〈主語〉

課題文

毎朝30分のジョギングをすることがその老人の健康の秘訣である。

文法研究

📖 to不定詞の名詞用法と動名詞

文法書を紐解くと、to不定詞の3用法という項目を目にする。名詞用法・形容詞用法・副詞用法の3つだ。名詞用法は文中で、名詞の働きをする場合で、直訳すると「～すること」になる。名詞の働きとは具体的には主語・目的語・補語のいずれかになることを言う。一方で、動名詞(*doing* ～)とは動詞が名詞化したものであり、文中では名詞と同じ働きをし、基本的には「～すること」と直訳するとある。こうなると、to不定詞の名詞用法と動名詞はほぼ同じかという錯覚を起こしてしまいがちだが、両者はちゃんと役割分担をしている。

📖 「ジョギングをすること」はto jogかjoggingか?

本問の「ジョギングをすること」はto不定詞で書くべきか動名詞で書くべきか。

(a) **To jog** for thirty minutes every morning is the key to ～ (×)

(b) **Jogging** for thirty minutes every morning is the key to ～ (○)

結論から言えば、この場合は(b)の動名詞が正しく(a)のto不定詞はよくない。**to不定詞**は〈to+動詞の原形〉で表されるが、このtoはもともと〈方向〉を表す前置詞のtoから派生したもので、〈to+動詞の原形〉は「～する方向へ」と直訳できる。そして、この方向とは一般に〈未来への方向〉を指す。〈未来への方向〉とは〈これからやること〉という意味である。

よって、(a)は「これから30分ジョギングをするとすれば、それはその老人の健康の秘訣である」となるが、「健康の秘訣」と言う以上はこの老人はもうすでにジョギングを始めているはずなので、「これからジョギングを始める」わけではない。よってto不定詞で書くのはおかしいとわかる。

📖 動名詞の-ingも〈動き〉を表す

一方、動名詞とは-ingで表される形であるが、-ingの定義は〈動く〉であった(⇒§2)。これは現在分詞であろうと動名詞であろうと共通の根源である。

動名詞の場合の〈動く〉とは、たとえて言うならCDやコマのように〈ぐるぐる回っている〉イメージである。つまり〈繰り返し動く〉ことを意味する。この老人は毎日ジョギングをしているわけで、ジョギングを繰り返し行っている。よって、(b)の動名詞を用いるのが正しい。ちなみに、日本語では「ジョギング」と最初から-ingが付いている形で呼んでいるが、もともとはjogが「ジョギングする」という動詞で、この動名詞形がjoggingである。

📖 文頭のto不定詞と動名詞の違い

まとめると、**to不定詞**は〈これからやること→まだやっていないこと〉を表し、**動名詞**は〈繰り返し行うこと→もうすでにやっていること〉を表す。これは文頭で使う場合にいちばん顕著に現れる。ただし、文頭の**to不定詞**は単に古い用法だからもう使わないという意見もある。

英訳例

(A) Jogging for thirty minutes every morning is the key to that old man's good health.

(B) The old man is in good shape, because he jogs for 30 minutes every morning.

🔍 直訳せずに、(B)のように「その老人が健康なのは毎日30分ジョギングをしているからだ」と訳す方法もある。

表現研究

● 秘訣

the key to ～は「～(へ)の鍵」。**the secret of** ～は個人的な秘密。ジョギングが体によいことはみんな知っているのだから、この場合は**key**の方がよい。

● 健康

healthだけでは中立状態(良い健康と悪い健康の両方)を表すこともあるので**good health**が適切。(B)の**in good shape**は「(普段から鍛えているから)健康だ」という熟語。